

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公表番号】特表2009-525437(P2009-525437A)

【公表日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2008-552766(P2008-552766)

【国際特許分類】

F 1 6 B 35/00 (2006.01)

F 2 8 D 15/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 35/00 Y

F 2 8 D 15/02 K

F 1 6 B 35/00 A

F 1 6 B 35/00 R

F 1 6 B 35/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下方端部（10）と上方端部（9）を備え、第1の構成部材（4）を第2の構成部材（5）と接続するためのボルト（6）であって、

前記ボルト（6）は、その長さ方向（7）に沿って中空空間（8）を有し、

前記中空空間（8）は前記下方端部（10）に、コップ状の中空空間（8）を形成するための底部（11）を有し、前記中空空間（8）は媒体（12）が充填されるように構成されているボルト。

【請求項 2】

請求項 1 記載のボルト（6）であって、

前記中空空間（8）は孔部として構成されているボルト。

【請求項 3】

請求項 2 記載のボルト（6）であって、

前記中空空間（8）の壁（13）の一部は、前記上方端部（9）を越えて突出しているボルト。

【請求項 4】

請求項 3 記載のボルト（6）であって、

前記上方端部（9）を越えて突出する壁（13）は、該ボルト（6）内に存在する壁（14）の部分と少なくとも同じ長さであるボルト。

【請求項 5】

請求項 1、2、3 または 4 記載のボルト（6）であって、

前記中空空間（8）は閉鎖されているボルト。

【請求項 6】

下方端部（10）と上方端部（9）を備え、第1の構成部材（4）を第2の構成部材（5）と接続するためのボルト（6）であって、

前記ボルト(6)は孔部(2 4)を有する形式のボルトとし、
前記孔部(2 4)にはヒートパイプ(2 3)が配置されており、該ヒートパイプ(2 3)は媒体(1 2)が充填されるように構成されているボルト。

【請求項 7】

請求項 6 記載のボルト(6)であって、
前記孔部(2 4)は毛細管(2 6)を有するボルト。

【請求項 8】

請求項 6 記載のボルト(6)であって、
前記孔部(2 4)は、上方端部(9)から下方端部(1 0)まで貫通して形成されており、前記ヒートパイプ(2 3)は前記下方端部(1 0)を越えて突出しているボルト。

【請求項 9】

請求項 6、7 または 8 記載のボルト(6)であって、
前記ヒートパイプ(2 3)は、前記上方端部(9)を越えて突出しているボルト。

【請求項 1 0】

請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載のボルト(6)であって、
ねじ付きロッド(1 6)とナット(1 7)を有するボルト。

【請求項 1 1】

請求項 1 から 1 0 のいずれか一項に記載のボルト(6)であって、
媒体(1 2)として液体ナトリウムまたは液体カリウムを備えるボルト。

【請求項 1 2】

請求項 1 から 1 1 のいずれか一項に記載のボルト(6)であって、
材料 X 1 9 C r M o V N 1 1 - 1、または 2 1 C r M o V 5 - 7、またはナイモニック(米国 INCO 社の登録商標) から作製されたボルト。

【請求項 1 3】

請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載のボルト(6)であって、
1 5 0 から 8 0 0 m m の長さを有するボルト。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 1 3 のいずれか一項に記載のボルト(6)であって、
D I N 規格(ドイツ連邦規格)で M 5 6 から M 1 8 0 の間のねじを備えるボルト。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

大きさに関しては、ボルトの長さが 1 5 0 から 8 0 0 m m であり、ねじは D I N 規格(ドイツ連邦規格)で M 5 6 から M 1 8 0 の間であると有利である。